

第6次提言骨子

1 ポストコロナ禍を踏まえた新しい働き方の推進

- ワークেশョンの推進
 - ・官民挙げた機運醸成（意識の規制改革）
 - ・労働法制における「サービスや休暇の取扱い」の具体的なガイドライン化
- 多様な働き方に即した環境整備
 - ・テレワーク交付金の拡充及び制度改革
 - ・テレワークの普及等に伴う適正な評価制度の確立
 - ・ジョブ型社員普及に向けた雇用ルールの明確化
 - ・フリーランスの健全な発展への労働条件等の情報開示

2 デジタル社会の実現

- 行政のデジタル化、簡素化
- DXに向けた5Gの取組推進
- スマート農業の推進

3 グリーン社会の実現

- 循環型資源である木材利用の推進
 - ・木材利用技術を積極的に取り入れることによるカタログ化の実践
 - ・木材利用技術における市町村の技術サポートの実施
- 再生可能エネルギーの利活用
 - ・電力地産地消の実証、事業に向けたルール作り
- 脱炭素社会に向けた水素の有効活用
 - ・水素ステーションの用途の拡大の提言(他の水素モビリティへの活用)
- 脱炭素社会に向けた規制「強化」
 - ・新設建築物におけるZEB（net Zero Energy Building）、ZEH（net Zero Energy House）導入の原則化及び大胆な助成制度の創設・導入

4 コロナで生まれた規制緩和の恒常化

- オンライン化の規制緩和
 - ・オンライン服薬指導の実施
 - ・オンライン授業の平時における単位取得の実施
- タクシーによる物資運搬やバスによる貨客混載
- 道路敷地利用における規制緩和